

医学部

医学部は、人類の健康・福祉に寄与できる専門的な知識、技術を身につけ、「科学者」の視点を持ちつつ、感性豊かな教養人としての医師・医学者を養成することを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術・技能が身に付いている。
- (2) 常に進歩する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する不断前進の態度・習慣が身に付いている。
- (3) 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を思いやり、慈しむ心（学是「仁」）が涵養されている。
- (4) チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣が身に付いている。
- (5) グローバル化する国際社会における諸問題に多面的な視点から対処し、解決できる能力と未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養が身に付いている。

スポーツ健康科学部

スポーツ健康科学部は、学是である「仁」の精神に基づき、「スポーツと健康」に関する多角的な視点及びスポーツ健康科学分野における専門性並びに高い倫理観を備え、多様な価値をもつスポーツを通じて社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。そのため学生は、次に定める資質及び能力を身に付けることを目標とする。

- (1) スポーツ健康科学に関連した幅広い知識を基礎とした教養
- (2) スポーツ又は健康に関わる分野で指導的な役割を果たすための高い倫理観
- (3) グローバル社会において連携や協働を促進するためのコミュニケーション能力とリーダーシップ
- (4) 社会や環境の変化に対応し、自ら課題を見つけ、スポーツ健康科学分野における専門的な知識又は技能をもとに課題を解決できる能力

医療看護学部

医療看護学部は、学是である「仁」の精神に基づき、安心・安全で質の高い看護を提供し、さらに高度先進医療の一翼を担うことができる高い倫理観を兼ね備えた看護職者（看護師・保健師・助産師）の育成を目指すことを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 看護に関する確実な知識・技術を身につけ、身体のみならず心を癒す質の高い看護が実践できる看護実践能力を修得する。
- (2) 次世代の看護職者として国際的に通用し、広く保健・医療・福祉の分野において活躍できる能力を修得する。

保健看護学部

保健看護学部は、学是である「仁」の精神に基づき、保健医療福祉の一翼を担う優れた看護実践力をもつ心温かで、地域の人々のヘルスプロモーションに貢献する国際性豊かな看護職者を養成することを目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 科学的根拠に基づいた看護基礎能力を身に付け、心身を癒す看護実践能力を修得する。
- (2) 進歩・変化の著しい保健医療福祉分野を総合的に理解し、創意工夫する態度・習慣を身に付ける。
- (3) 国際的に活躍できる素養を身に付ける。
- (4) 自らの健康管理を実践しながら能動的・主体的に看護学を探究する能力を習得する。

国際教養学部

国際教養学部は、学是である「仁」の精神に基づき、グローバル化時代の国際社会に貢献できる能力の開発を目指し、グローバリゼーションの時代にふさわしい国際教養を備え、多角的な視点を養い、論理的な思考力と分析力、実行力を身に付け、強い自立心と倫理観、問題解決能力を身に付けたグローバル市民を育成する。そのために、以下の目標を定める。

- (1) グローバル市民として英語等外国語によるコミュニケーション能力を修得する。
- (2) 国際社会で幅広く活躍するベースとなる国際教養を理解し、身に付ける。
- (3) 国際社会の課題解決に取り組む意欲に溢れ、人間味豊かな人格を培う。

保健医療学部

保健医療学部では、「本学の学是である「仁」の精神に基づき、人間尊重の理念と高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学や医療に係る基本的知識に裏打ちされた科学的根拠に基づく専門的知識及び医療技術を教授して、確かな実践能力と態度を身につけ、自己成長を目指して主体的に学修を継続することのできる資質の高い医療専門職者を養成する」ことを教育研究上の目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力を身に付ける。
- (2) 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力を身に付ける。
- (3) 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力を身に付ける。

医療科学部

医療科学部では、「本学の学是である「仁」の精神に基づき、人間尊重の理念と高い倫理観と豊かな人間性を育み、医学や医療に係る基本的知識に裏打ちされた科学的根拠に基づく専門的知識及び医療技術を教授して、確かな実践能力と態度を身につけ、自己成長を目指して主体的に学修を継続することのできる資質の高い医療専門職者を養成する」ことを教育研究上の目的とする。そのために、以下の目標を定める。

- (1) 人間尊重の理念と高い倫理観を持ち、豊かな人間性を備えて人間の生活と健康状態における普遍性と多様性に強い関心と深い理解を示し、社会に貢献できる能力
- (2) 良質な医療を提供するうえで求められる、患者や他の医療職者に対して適切にコミュニケーションできる能力
- (3) 医学・医療に係る基本的知識を身につけるとともに、自己の専門分野における科学的根拠に基づいた体系的な専門的知識を修得し、実践能力を発揮することができる能力
- (4) 自己の専門分野に対する向上心と研究心を持ち、生涯を通して継続して自己研鑽に励み、自己成長していく能力

健康データサイエンス学部

健康データサイエンス学部では、「本学の学是である「仁」の精神に基づき、幅広い教養に裏付けられた豊かな人間性と高い倫理観、国際性を育み、数理統計、コンピュータサイエンスの基礎の上にデータの収集・加工・分析・解析等、データサイエンスに関する専門知識と技術を修得するとともに、健康・医療・スポーツ領域を理解するための基本的な知識を学修し、健康・医療・スポーツ領域に係るデータを基にデータサイエンスを応用して課題解決の方策を考案・提言し、新たな価値やサービスを生み出すことのできる実践能力を身につけ、自己成長を目指して主体的に学修を継続できる人材を養成する」ことを教育研究上の目的とします。

- (1) 学是「仁」の精神に基づき、幅広い教養に裏付けられた豊かな人間性と高い倫理観、グローバル社会におけるコミュニケーション能力や国際的視野という国際性を備え、社会に貢献できる能力
- (2) データサイエンスの基礎となる数理統計、コンピュータサイエンス等の理論と実践を学修し、データの収集・加工・分析・解析等、データサイエンスに関する専門知識と技術
- (3) データサイエンスの専門知識と技術を応用して健康・医療・スポーツ領域において新たな価値を生み出すために必要となる健康・医療・スポーツ領域を理解するための基本的な知識
- (4) データサイエンスの専門知識と技術を応用して健康・医療・スポーツ領域における課題解決の方策を考案・提言し、新たな価値やサービスを生み出すことのできる実践能力
- (5) 健康・医療・スポーツ領域の専門性を有する人達と円滑なコミュニケーションを図り、協同して現場での課題に対応することができるプレゼンテーション能力
- (6) 健康・医療・スポーツ領域におけるデータサイエンスに興味や関心を持ち続け、自律的な学修を継続して自己成長する態度

大学院医学研究科

医科学専攻（修士課程）

修士課程は、医科学系の知識を系統的に修得できるカリキュラムのもと、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢、能力を涵養する教育、研究の場である。

本学の学是「仁」の精神一常に相手の立場に立って物事を考え、他を思いやり、慈しむ心を兼ね備えた、次に掲げる“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を育成することを人材養成目的とする。

- (1) 展開医科学学位プログラム：医学・医療領域における基礎的・応用的研究の推進に貢献できる人材及び高度な医療関係業務に関わる人材。
- (2) International Medical Sciences Degree Program：医学・医療における基礎知識と技能を修得し、医科学分野における国際的な課題に対応すべく、問題解決の能力を主体的に高め、優れた言語運用能力を活かして、自らの研究成果を世界に向けて発信し、国際社会に貢献できる人材。
- (3) 臨床遺伝学（遺伝カウンセリング）学位プログラム：遺伝カウンセリングの実践に必要な専門的知識、カウンセリング理論と技法を体得し、遺伝医療を必要としている患者や家族に適切な遺伝情報や社会の支援体制などの情報を提供して、心理的・社会的サポートを通して当事者の自律的な意思決定を支援するゲノム医療に重要な役割を果たす人材。
- (4) データサイエンス学位プログラム：客観的かつ的確にビッグデータを解析・活用できる医療系データサイエンティストに必要なコンピュータサイエンスの素養、及び、医療データの適正な取り扱いと安全な解析を行う知識とスキルを身に付け、多様な医療の専門家と円滑なコミュニケーションがとれる人材。
- (5) 公衆衛生学・グローバルヘルス学位プログラム：グローバルな視点から、健康格差や脆弱者の健康の現実を見極め、国内外の健康に関する諸問題の解決を通して人類が直面する課題に貢献したいという高邁な理想を持ち、公衆衛生学・グローバルヘルスの研究や実践を自立して活動するために必要な能力、及びその基礎となる知識、倫理観、そして、深い教養に基づく創造性に裏付けられた優れた人材。
- (6) クリニカル・トランスレーショナルサイエンス学位プログラム：臨床研究を支援する上で必要な基本的知識、方法論、実践スキルに習熟して臨床研究支援業務を幅広く理解することにより、多職種連携を高めるチームマネジメント能力に優れ、臨床研究者とのコミュニケーションを通じ、臨床研究者と支援者間の円滑な連携体制を構築できる人材。
- (7) ヘルスコミュニケーション学位プログラム（医療通訳分野）：厚生労働省の医療通訳養成カリキュラムに基づく認定医療通訳者養成講座を修め、医療通訳に必要な専門的知識、技法を体得し、医療通訳を必要としている外国人患者や家族に適切な支援を提供して、医療者と外国人患者間の仲介者として、コミュニケーションを支援・研究する、医療・公衆衛生分野において重要な役割を果たす人材。

医学専攻（博士課程）

博士課程は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場である。

そして、常に相手の立場にたって物事を考え、人間として、あるいは医学者として他を思いやり、慈しむ心、これ即ち学是、「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点である。

このような基本理念に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢をもった基礎医学者と臨床医学者、あるいはその両方を兼ね備えた Physician-Scientist、究極的には心身共に病める人々を救済する“志高き医師・医学者”を育成することを人材養成目的とする。

大学院スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、本学の理念のもと、スポーツと健康の科学的研究と高い倫理観に基づき、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的とする。

- (1) 博士前期課程（修士課程）は、スポーツの科学的基礎、社会科学的価値ならびにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上及びスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材の育成を目的とする。
- (2) 博士後期課程（博士課程）は、スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、その成果をスポーツ健康科学の発展に応用できる高度な専門家・指導者の育成を目的とする。

大学院医療看護学研究科

医療看護学研究科は、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な看護実践能力をもち、看護学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的とする。

- (1) 博士前期課程では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮できる看護専門職者、看護学の成立基盤を基に看護学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。
- (2) 博士後期課程では、看護学を探究できる能力を有し、研究成果に基づいた質の高い医療・看護を人々に提供できる判断力と実践能力を身に付けた看護専門職者の教育を行うための教育者・研究者及び科学的視点を持った高度実践看護職者を育成する。

大学院保健医療学研究科

本学は学是「仁」の精神を基に、「不断前進」を教育研究の理念とし、他者を思いやり理解する心・感性を持ち、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける人材の育成を目的とする。

本研究科においては、学部における理学療法学、および診療放射線学における学識をさらに発展させ、高い倫理観をもって直面する問題に対して科学的視点を持ちながら客観的に分析する能力、および高度な専門性や研究能力・教育能力を持ち、社会に貢献できる高度専門職業人及び教育者・研究者を育成する。